

2024年2月8日

南海電気鉄道株式会社



住民共創スマートシティの実現に向けた 地区課題と事業者サービスのマッチング事業を開始します

—【第1弾】住民・企業 学びと交流のセミナー参加者等の募集—

堺市（市長：永藤 英機）、南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行）では、暮らしの身近な課題を解決しようと取り組んでいる泉北ニュータウン地域の住民や、地域活動団体（以下、「市民ハブ人材」という）・SENBOKUスマートシティコンソーシアム（以下、^(※1)「コンソーシアム」という）・大阪公立大学と連携し、泉北ニュータウン地域の住民が抱える課題と、コンソーシアムの会員企業が有する ICT 技術を活用したサービスのマッチングを行い、当該課題の解決をめざす事業を開始します。

なお、本事業は企業版ふるさと納税を活用した^(※2)大阪公立大学協創推進事業、及びコンソーシアムのスマートタウンワーキンググループの取組の一環として実施するものです。

(※1) 令和4年6月27日に設立され、泉北ニュータウン地域のスマートシティ化を公民連携でめざすコンソーシアム。ヘルスケア・モビリティ・エネルギー・スマートタウン・データ連携の5つの WG で構成されており、令和6年1月現在の会員数は154社。

(※2) 堺市の行政課題等と大阪公立大学の研究課題をマッチングし、堺市を実証フィールドとしながら、両者が連携してイノベーションの創出や地域課題の解決等に寄与する実証プロジェクト等に取り組む事業。

1 実施者

SENBOKU スマートシティコンソーシアムスマートタウンワーキンググループ（堺市・南海電気鉄道株式会社）

大阪公立大学 担当教員：同大学大学院文学研究科人間行動学専攻 准教授 菅野 拓
（専門分野：人文地理学/都市地理学/サードセクター論/防災・復興政策）

2 事業の流れ

本事業では、泉北ニュータウン地域の住民が抱える課題を解決するために、市民ハブ人材やコンソーシアム会員企業に「学び」「ネットワーキング」「マッチング」の機会を提供し、地区単位（小学校校区程度の範囲を対象とした身近な生活圏）における課題の解決に資するサービスの社会実装をめざし、次の取組みを行います。

①市民ハブ人材やコンソーシアム会員等のネットワーキング

・住民やコンソーシアム会員企業等を対象とした「地域課題×スマート技術」をテーマとした学びと交流の場（セミナー）の開催。

②事業対象地区の住民との課題共有

- ・市民ハブ人材の公募と事業対象地区の選定、地区課題のヒアリング。
- ・地区課題の共有に向けた地区住民ワークショップの開催。

③地区課題とコンソーシアム会員企業のサービスのマッチング

- ・地区の具体的課題に即したコンソーシアム会員企業のサービスをマッチング。

※その後、市民ハブ人材・コンソーシアム会員企業・コンソーシアム運営委員会等の連携による実証プロジェクトの実施を経て、サービスの社会実装をめざします。

3 本事業での社会実装をめざすサービスの具体例

■ヘルスケア分野

- ・認知症等の高齢者や子ども等の見守りに関する課題の解決をめざし、地区として見守りシステムを導入し、地区住民が皆で見守り活動を行う。
- ・地区住民の健康活動に関する課題の解決をめざし、地区として健康増進アプリを導入し、地区住民が皆で健康活動を行う。

■モビリティ分野

- ・買物や移動困難に関する課題に関する解決をめざし、地区として新たなモビリティを導入し、地区住民が主体となって住民の移動支援を行う。

■データ連携(コミュニティ)分野

- ・地区内コミュニティでの情報発信・共有に関する課題の解決をめざし、地区としてコミュニティアプリを導入し、地区住民が皆で情報共有できる仕組みを構築する。

4 セミナー参加者と市民ハブ人材の募集

「地域課題×スマート技術」をテーマとした学びと交流を目的としたセミナーの参加者と、本事業で連携する市民ハブ人材を募集します。詳細については別添資料をご確認ください。

以 上

スマート技術とコミュニティの力で
ニュータウンの課題解決に挑む最先端・南花台に学ぶ

SENBOKUスマートシティコンソーシアム
スマートタウンWG

地域課題×スマート技術 研究会 vol.1

河内長野市の南花台では、ICT技術を活用し、住民と企業・大学・行政等が連携してヘルスケアやモビリティ等のソフト事業とハード整備を一体的に進め、ニュータウン活性化に取り組んでおられます。
今回は南花台のキーパーソンをお招きし、その取組についてお話いただきます。

プログラム

講演「住民とともに地域の未来を創る南花台の取組」
意見交換・交流会

講師・講評

河内長野市役所 総合政策部 理事 谷ノ上 浩久 氏
河内長野市役所 政策企画課 係長 横山 司 氏
一般社団法人カンデ 代表理事 関谷 大志朗 氏
大阪公立大学大学院文学研究科 准教授 菅野 拓 氏

時間・場所等

2024年2月21日（水） 19時00分～20時40分
泉ヶ丘センタービル4階 第1集会室
（堺市南区茶山台1丁目2-1）
定員：40名 参加費：無料

申込・問合せ

右記のQRコードもしくは、下記のURLにて
お申し込みください
<https://forms.gle/QJ2CPnCcLxX5XPu5A>



主催：
SENBOKUスマートシティコンソーシアム スマートタウンWG（堺市・南海電気鉄道(株)）
大阪公立大学

SENBOKUスマートシティ



ICT技術×企業等との連携で 地区課題の解決をめざす人材を募集

応募締切：令和6年2月29日（木）

概要

- 民間事業者・SENBOKUスマートシティコンソーシアム（堺市・南海電気鉄道(株)）・大阪公立大学等と連携して、ICT技術を活用して泉北ニュータウン地域の地区（小学校校区程度の範囲を対象とした身近な生活圏）の課題の解決をめざす住民や地域活動団体等（市民ハブ人材）を募集します。
- 事業詳細は右記のQRコードまたは下記のURLをご確認のうえお申し込みください。 <https://senboku-smartcity.com/smarttown-news/civichubpersonnel/>



市民と企業の学びと交流の場

〈地域課題×スマート技術研究会〉

河内長野市南花台でICT技術を活用して地区の課題解決に取り組むキーパーソンをお招きし、事例を学びます

令和6年2月21日（水） 19：00～@泉ヶ丘センタービル

* 詳細・お申込は右記のQRまたはURLをご覧ください。

<https://senboku-smartcity.com/smarttown-news/studygroup/>



事業趣旨

泉北ニュータウン地域の地区単位（小学校校区程度の範囲を対象とした身近な生活圏）の課題（ニーズ）と、SENBOKUスマートシティコンソーシアムの会員企業が保有するICT技術を活用したサービス（シーズ）をマッチングし、地区の課題を解決することをめざします。

*SENBOKUスマートシティコンソーシアム

泉北ニュータウン地域のスマートシティ化を公民連携でめざすコンソーシアム。ヘルスケア・モビリティ・エネルギー・スマートタウン・データ連携の5つのWGで構成されており、令和6年1月現在の会員数154社。

事業の流れ

市民ハブ人材の公募



企業等と連携し、自らが日常的に活動する地区の課題をICT技術を活用して解決したい市民ハブ人材（住民や地域活動団体等）を募集し、事業対象地区を選定します

地区課題のヒアリングと地区住民ワークショップの開催



市民ハブ人材への地区課題のヒアリングをもとに、地区住民との地区課題の共有のためのワークショップを開催します

地区課題とSENBOKUスマートシティコンソーシアムの会員企業のサービスをマッチング



地区の具体的課題に即したコンソーシアム会員のICTサービスをマッチングします

市民ハブ人材やコンソーシアム会員企業との連携で実現をめざす活動のイメージ（例）

■ヘルスケア分野

- ・認知症等の高齢者や子ども等の見守りに関する課題の解決をめざし、地区として見守りシステムを導入し、地区住民みんなで見守り活動を行う
- ・地区住民の健康活動に関する課題の解決をめざし、地区として健康増進アプリを導入し、地区住民みんなで健康活動を行う

■モビリティ分野

- ・買物や移動困難に関する課題に関する解決の解決をめざし、地区として新たなモビリティを導入し、地区住民が主体となって住民の移動支援を行う

■コミュニティ分野

- ・地区内コミュニティでの情報発信・共有に関する課題の解決をめざし、地区としてコミュニティアプリを導入し、地区住民みんなで情報共有できる仕組みを構築する